

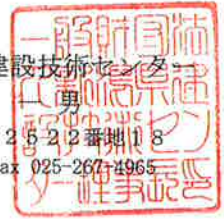


S第 1-200186 号
令和 4年 8月 8日

佐渡砕石協同組合
理事長

清水 正秀 様

一般財団法人 新潟県建設技術センター
理事長 中田 一博
〒950-1101 新潟市西区山田2-5-22番地18
Tel 025-267-2191 Fax 025-267-4965



土 質 試 験 結 果 報 告 書

下記試験の結果を別紙のとおり報告します。

記

試 料 名 粒度調整砕石 M-25

採取地又は産地 新潟県佐渡市梅津地内

工 事 名 等 -----

試 験 項 目 土の液性限界・塑性限界試験
骨材のふるい分け試験
ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験
CBR試験（修正CBR）

【注意】 当センターの書面による承認がない限り、本報告書の一部だけの複製を禁ずる。
申込事項に関する記述は顧客の申告による。

土質試験結果一覧

令和 4年 8月 8日

調査件名	S 1-200186
採取地又は産地	新潟県佐渡市梅津地内
試験担当者	山口 敏彦
試料番号(深さ)	1

試験項目	ふるい分け (通過質量百分率) %						
	31.5 mm	26.5 mm	13.2 mm	4.75 mm	2.36 mm	0.425 mm	0.075 mm
試験値	100	100	78	48	38	23	10
規格値	100	95~100	55~85	30~65	20~50	10~30	2~10

試験項目	自然含水比 %	液性限界 W_L %	塑性限界 W_p %	塑性指数 I_p
試験値	—	NP	NP	NP

試験項目	最適含水比 W_{opt} %	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³	修正CBR % (締固め度 95%)	すりへり減量 %
試験値	5.7	2.24	102.01	15.7

特記事項

JIS A 1102		骨材のふるい分け試験				
調査件名 S1-200186		試験年月日 令和4年7月12日				
試験料名 1		試験者 井上 道明				
試験の種類		—		採取年月日		令和-年-月-日
試験の採取場所		—		採取者		—
全乾燥試験質量		16738 g		ふるい分け方法		手動
ふるい目の開き (mm)	各ふるいとどまる 質量 (g)	連続する各ふるい 間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるい 間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいとどまる 質量分率 (%)	各ふるいを通過する 質量分率 (%)	
106						
75						
63						
53						
37.5						
31.5	0	0	0	0	100	
26.5	71	71	0	0	100	
19.0						
16.0						
13.2	3778	3707	22	22	78	
9.5						
4.75	8778	5000	30	52	48	
2.36	10369	1591	10	62	38	
1.18						
0.6						
0.425	12956	2587	15	77	23	
0.15						
0.075	15049	2093	13	90	10	
以下(受皿)	16738	1689	10	100	0	
計	16738	16738	100			

<粒径加積曲線>

通過質量百分率(%)

ふるい目の呼び寸法(mm)

備考 なし

JIS A 1121	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験
------------	------------------------

調査名・目的 S1-200186

試料名	1	試験者	井上 道明
採取地	-	試験場所	-
採取者	-	試験年月日	令和 4年 7月 13日
採取年月日	令和 -年 -月 -日	玉の数(個)	8
最大寸法(mm)	-	回転速度(回/分)	32
粒度区分	13~5mm	回転数(回)	500
		鋼球質量	3338

試験日の状態	室温(°C)	湿度(%)	水温(°C)	乾燥温度(°C)
	-	-	-	105
記事	なし			

ふるい分け試験			試験前の試料の質量(g)
とどまるふるい(mm)	通るふるい(mm)	各群の質量分率(%)	
-	2.5	—	—
2.5	5	—	—
5	10	—	—
10	13	—	—
13	20	—	—
20	25	—	—
25	40	—	—
40	50	—	—
50	60	—	—
60	80	—	—
合計		—	① 5000
② 試験後, 1.7mmふるいとどまった試料の乾燥質量(g)			4213
③ すりへり損失質量 ① - ②(g)			787
④ すりへり減量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)			15.7
判定			-

備考: なし

調査件名 S1-200186

試験年月日 令和 4年 7月 14日

試験者 井上 道明

試料番号 (深さ) 1

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %		NP
				塑性限界 w_p %
				NP
				塑性指数 I_p
				NP
ヒモ状にならず試験不能				

試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %		
				塑性限界 w_p %
				塑性指数 I_p

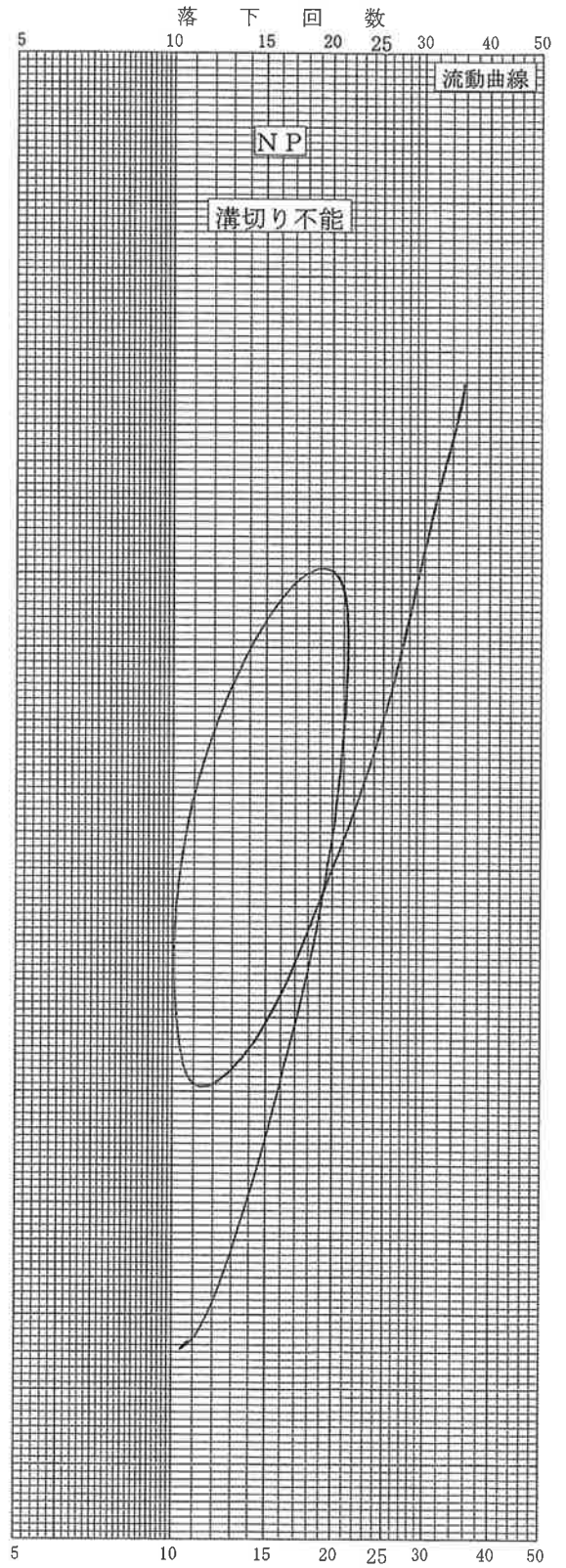
試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %		
				塑性限界 w_p %
				塑性指数 I_p

試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %		
				塑性限界 w_p %
				塑性指数 I_p

特記事項
なし



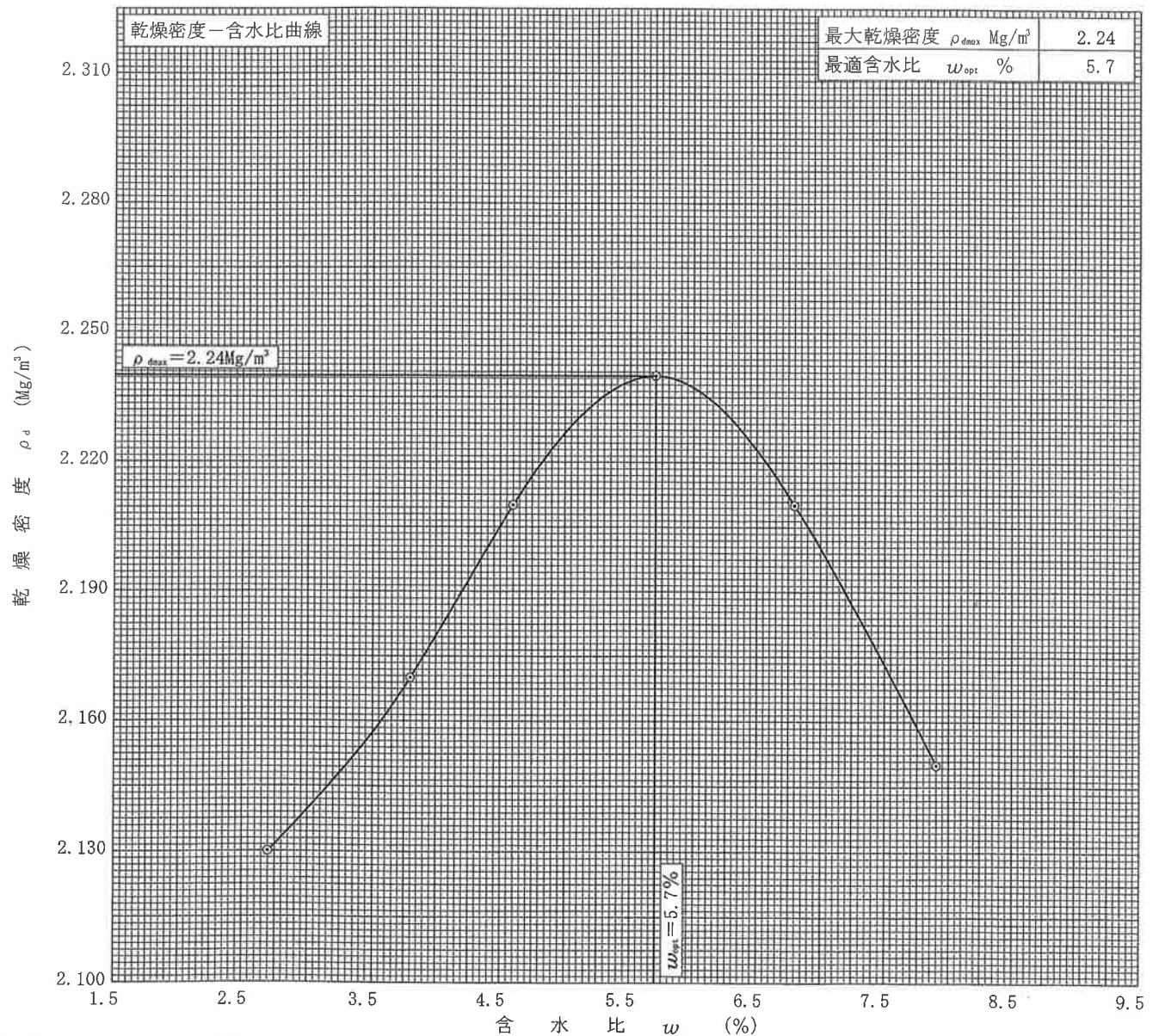
調査件名 S1-200186

試験年月日 令和 4年 7月 19日

試料番号 (深さ) 1

試験者 山口 敏彦

試験方法	E-b		土質名称		—			
試料の準備方法	乾燥法, 湿潤法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³	—		
試料の使用方法	繰返し法 , 非繰返し法		落下高さ mm	450	試料調製前の最大粒径 mm	—		
含水比	試料分取後 w_0 %	—		突固め回数 回/層	92	モールド	内径 mm	150
	乾燥処理後 w_1 %	1.0		突固め層数 層	3		高さ ¹⁾ mm	125.0
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 w %	2.7	3.8	4.6	5.7	6.8	7.9	/	
乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	2.13	2.17	2.21	2.24	2.21	2.15		



特記事項

1) 内径150mmのモールドの場合はスパーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_w}{\rho_w/\rho_s + w/100}$$

調査件名 S1-200186

試験年月日 令和 4年 7月 25日

試料番号 (深さ) 1

試験者 山口 敏彦

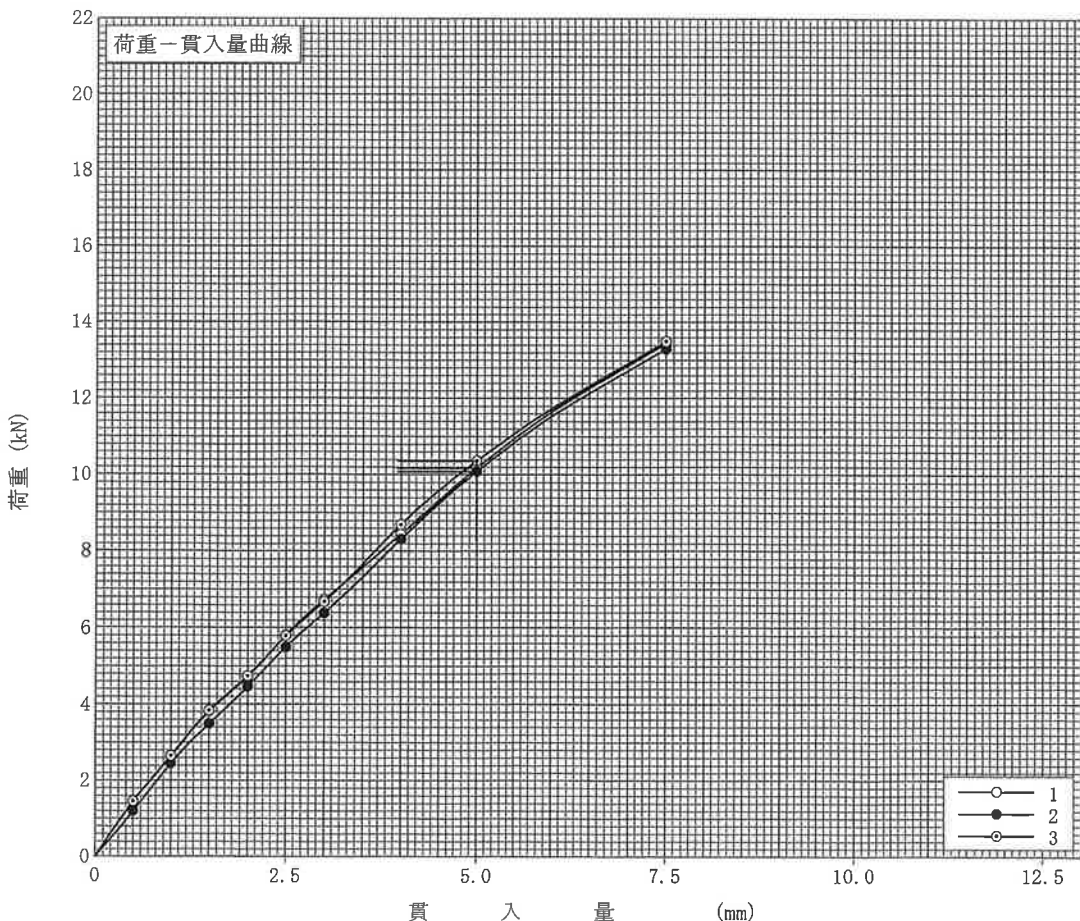
試験方法	締固めた土, 乱さない土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	—
突固め方法	—	落下高さ mm	450	空気乾燥前含水比 %	—
試料の準備方法	非乾燥法 , 空気乾燥法	突固め回数 回/層	17	自然含水比 w_n %	—
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数 層	3	最適含水比 w_{opt} %	5.7
養生条件	— 日空气中	モールド	内径 mm	150	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³
	4 日水浸		高さ ¹⁾ mm	125	
供試体 No.		1	2	3	
吸水膨張試験	前	含水比 w_1 %	5.1	5.1	5.7
		乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	2.05	2.05	2.06
	後	膨張比 r_e %	0.01		
		平均含水比 w' %	9.3		
	乾燥密度 ρ'_d Mg/m ³	2.05			
貫入試験	試験後の含水比 w_2 %	8.0	8.3	8.1	
	貫入量2.5mmにおけるCBR%	43.28	40.97	43.13	
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	51.11	50.65	52.06	
	C B R %	51.11	50.65	52.06	

平均 C B R %
51.27

特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No.1	5.80	10.17
供試体 No.2	5.49	10.08
供試体 No.3	5.78	10.36
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9



調査件名 S1-200186

試験年月日 令和 4年 7月 25日

試料番号 (深さ) 1

試験者 山口 敏彦

試験方法	締固めた土, 乱さない土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	—
突固め方法	—	落下高さ mm	450	空気乾燥前含水比 %	—
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数 回/層	42	自然含水比 w_n %	—
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数 層	3	最適含水比 w_{opt} %	5.7
養生条件	— 日空气中	モールド	内径 mm	150	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³
	4 日水浸		高さ ¹⁾ mm	125	
供試体 No.		4	5	6	
吸水膨張試験	前	含水比 w_1 %	5.8	6.3	5.7
		乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	2.16	2.15	2.16
	後	膨張比 r_e %	0.01		
		平均含水比 w' %	8.3		
		乾燥密度 ρ'_d Mg/m ³	2.16		
貫入試験		試験後の含水比 w_2 %	7.4	7.2	7.3
		貫入量2.5mmにおけるCBR%	107.76	96.79	106.42
		貫入量5.0mmにおけるCBR%	126.63	117.39	124.47
		C B R %	126.63	117.39	124.47

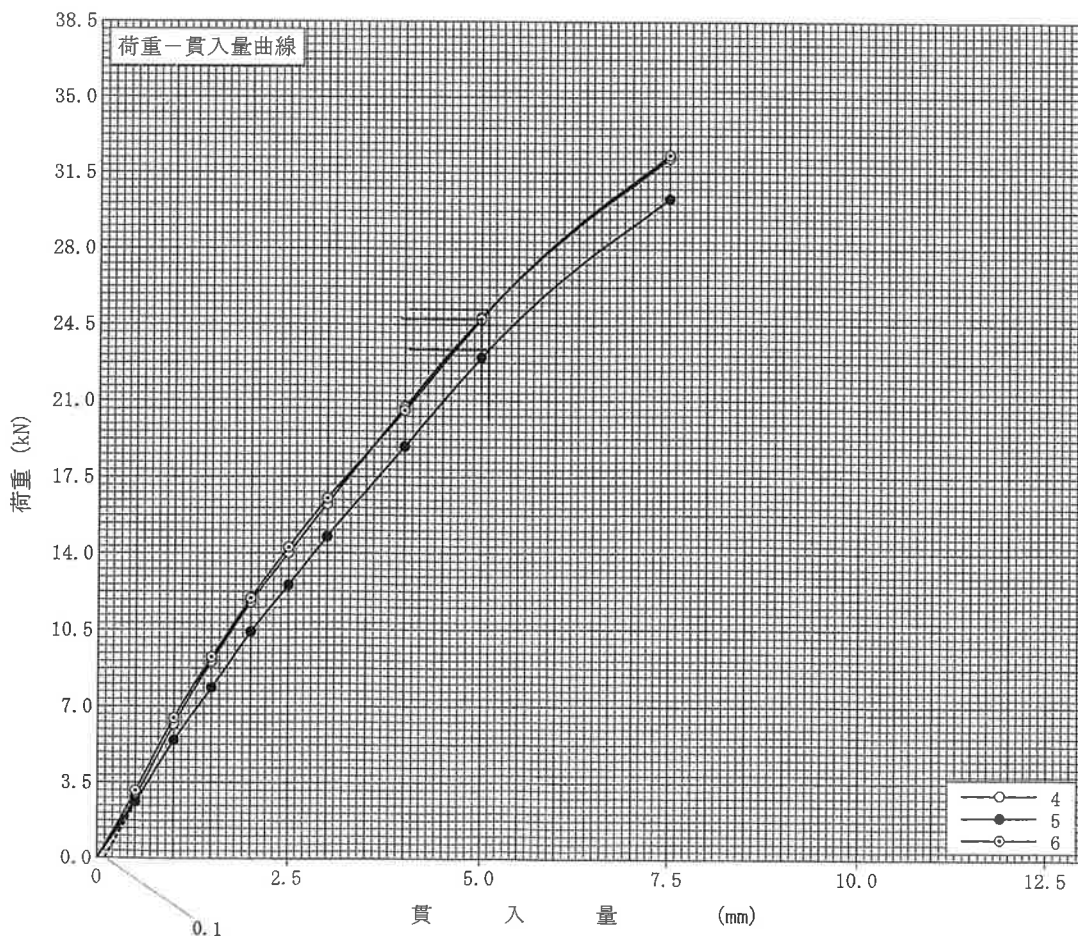
平均 C B R %
122.83

特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]

[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No.4	14.44	25.20
供試体 No.5	12.97	23.36
供試体 No.6	14.26	24.77
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9



調査件名 S1-200186

試験年月日 令和 4年 7月 25日

試料番号 (深さ) 1

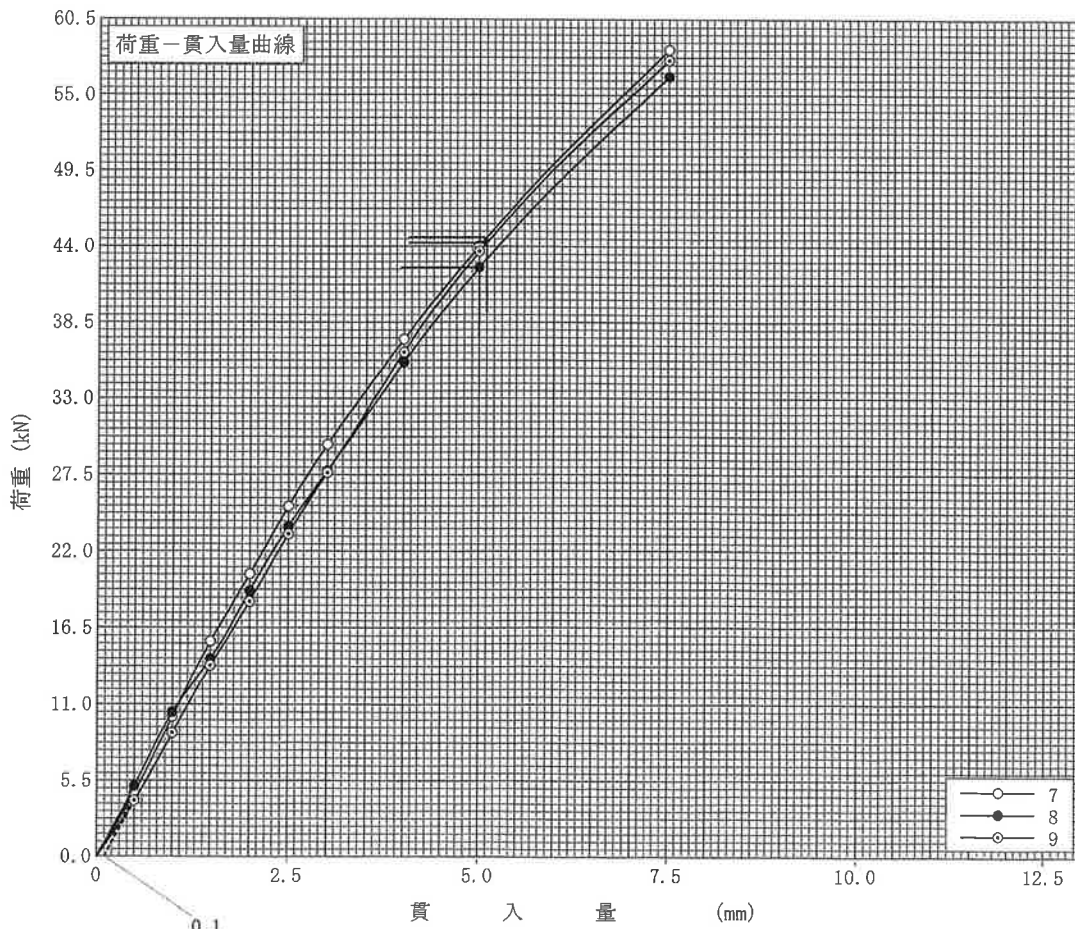
試験者 山口 敏彦

試験方法	締固めた土, 湿さない土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	—
突固め方法	—	落下高さ mm	450	空気乾燥前含水比 %	—
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数 回/層	92	自然含水比 w_n %	—
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数 層	3	最適含水比 w_{opt} %	5.7
養生条件	— 日空气中	モールド	内径 mm	150	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³
	4 日水浸		高さ ¹⁾ mm	125	

供試体 No.		7	8	9	
吸水膨張試験	前	含水比 w_1 %	5.7	5.5	5.7
		乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	2.24	2.23	2.24
	後	膨張比 r_e %	0.00		
		平均含水比 w' %	7.6		
	乾燥密度 ρ'_d Mg/m ³	2.24			
貫入試験	試験後の含水比 w_2 %		6.3	6.6	6.2
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		195.15	177.31	180.15
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		224.32	213.32	222.36
	C B R %		224.32	213.32	222.36

平均 C B R %
220.00

特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m²≒10.2kgf/cm²]
[1kN≒102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No.7	26.15	44.64
供試体 No.8	23.76	42.45
供試体 No.9	24.14	44.25
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

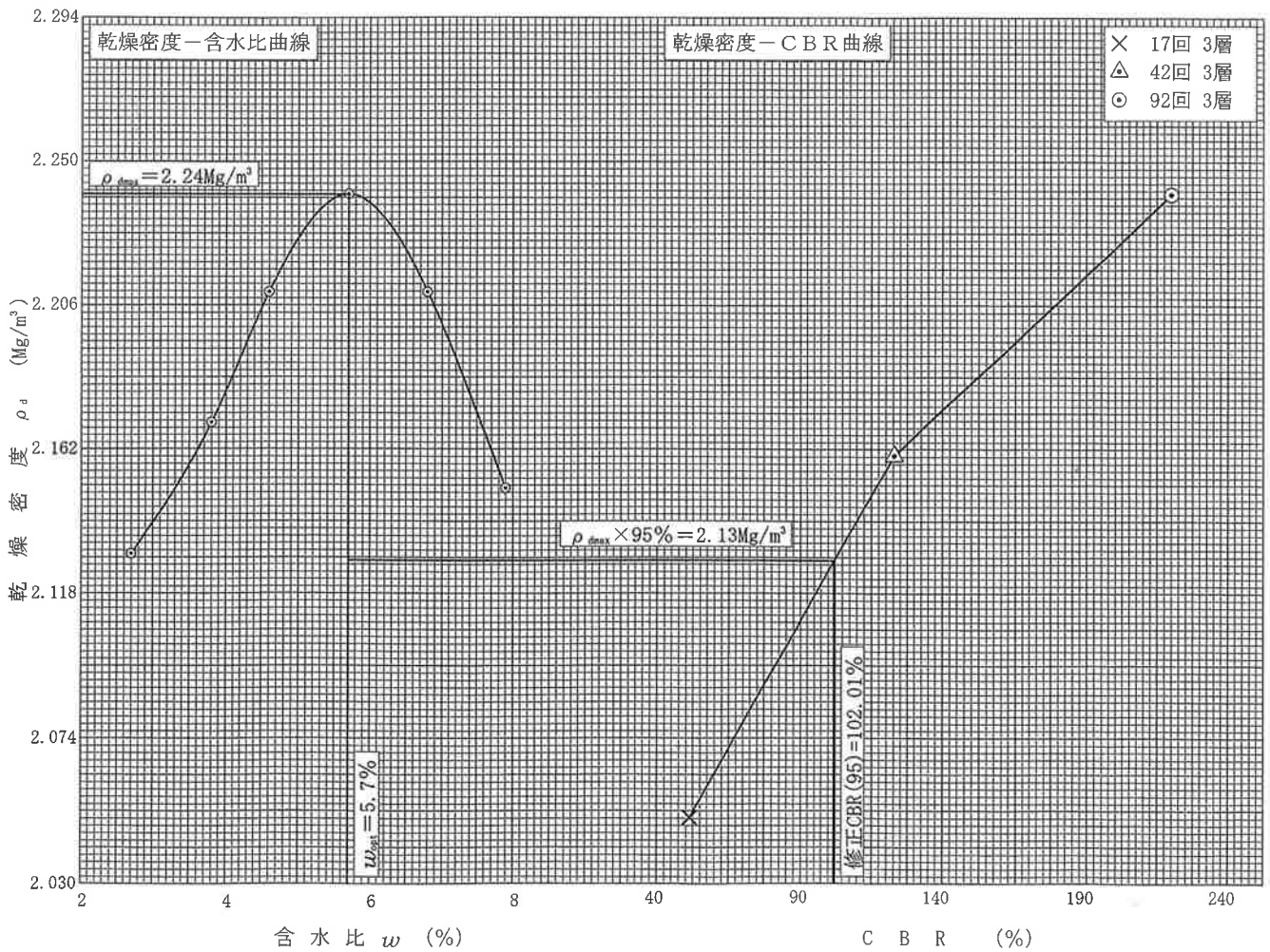
調査件名 S1-200186

試験年月日 令和 4年 8月 3日

試料番号 (深さ) 1

試験者 山口 敏彦

突固め回数 回/層	17 (3層)			42 (3層)			92 (3層)		
供試体 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	2.05	2.05	2.06	2.16	2.15	2.16	2.24	2.23	2.24
平均値 ρ_d Mg/m ³	2.05			2.16			2.24		
貫入量2.5mmにおけるCBR %	43.28	40.97	43.13	107.76	96.79	106.42	195.15	177.31	180.15
平均値 %	42.46			103.66			184.20		
貫入量5.0mmにおけるCBR %	51.11	50.65	52.06	126.63	117.39	124.47	224.32	213.32	222.36
平均値 %	51.27			122.83			220.00		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³	2.24	締固め度 %	95				
		最適含水比 w_{opt} %	5.7	修正 C B R %	102.01				



特記事項
なし